風水害①

風水害がもたらす危険について知っておこう！

大雨がもたらす危険とは？

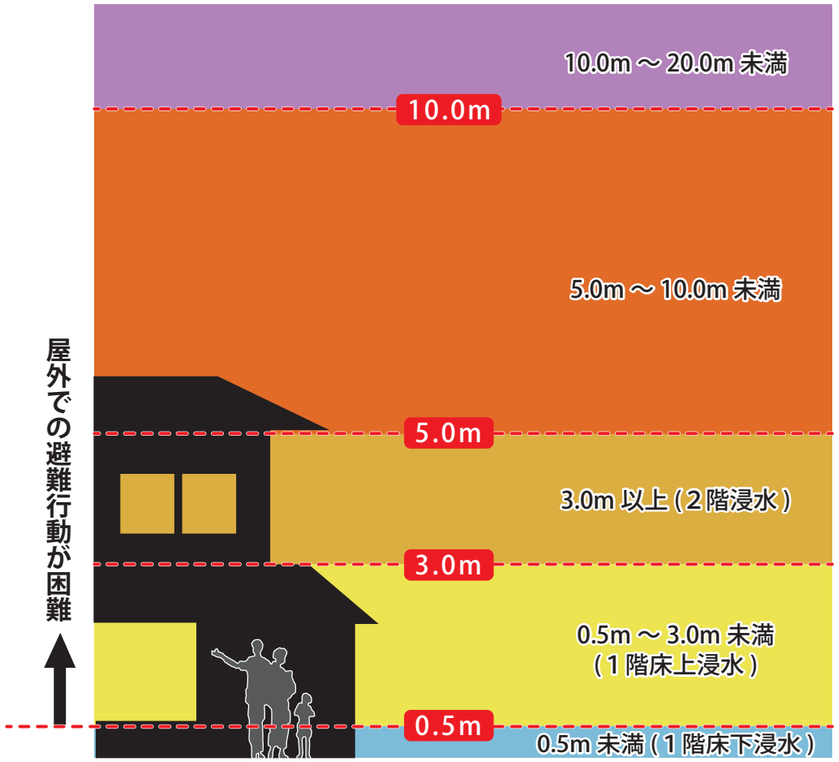
①河川の増水・氾濫

国土交通省（帯広開発建設部）は、気象庁（釧路地方気象台）と共同して、あらかじめ指定した河川（町内の指定河川は、十勝川と札内川）の洪水予報を発表します。（洪水予報の伝達方法等は、P11 に記載しています。）
洪水予報は、報道機関のほか、気象庁や国土交通省のホームページからも閲覧することができます。

洪水予報	とるべき行動
○○川 氾濫**発生**情報	逃げ遅れたら無理をせず救助を待ちましょう。
○○川 氾濫**危険**情報	避難勧告の有無に関わらず自主的に避難しましょう。
○○川 氾濫**警戒**情報	避難勧告が出たら速やかに避難を開始しましょう。
○○川 氾濫**注意**情報	避難の準備をしましょう。
発表なし	

②家屋の浸水・浸水深の目安

洪水（河川の氾濫）によって、市街地や家屋、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。（道路や農地が水で覆われることを冠水ということもあります。）
一般の家屋では、浸水深が 50cm 未満の場合は床下浸水、50cm 以上になると床上浸水する恐れがあり、３m以上では２階も浸水する恐れがあるため、２階への避難ができません。ハザードマップにより、自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するかなどを確認しておきましょう。



③土砂災害

土砂災害は、大雨、長雨、融雪、地震などがあったときに、山や崖などの斜面が崩れて下に落ちていく災害です。
近年は増加傾向にあり、突然発生することから被害が大きいことがあげられます。
危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識を得ておくことが大切です。

がけ崩れ

地面に雨水や雪解け水が大量にしみこんだり、地震の揺れによって、急な斜面が突然一気に崩れ落ちる現象。

こんな前ぶれ現象が起きたら注意！

■小石がぱらぱら落ちてくる。
■斜面に割れ目ができる。
■斜面から水が湧き出す。

土石流

山や谷の土や石が、大雨などでくずれ、水と混じってどろどろになり、激しく流れていく現象。

こんな前ぶれ現象が起きたら注意！

■山鳴りがしたり、ドーンという音、ゴロゴロという音がする。
■雨が降り続いているのに、川の水が急に減り始める。

幕別町の土砂災害危険箇所

土石流危険渓流	35 箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	17 箇所
地すべり危険箇所	0 箇所
計	52 箇所

平成 15 年３月に国が公表した町内 52 箇所の土砂災害危険箇所のうち、６箇所の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が平成 25 年 10 月 11 日に道により指定されました。
土砂災害危険個所は別紙ハザードマップをご覧ください。また、土砂災害警戒区域等のハザードマップは、区域ごとに作成しており、町のホームページをご覧ください。

強風・暴風がもたらす危険とは？

強風・暴風のときは、樹木が倒れたり、屋根が飛ばされたりするので外を歩くのは大変危険です。室内にいてもガラス窓に物が飛んできて割れることがあるので、カーテンを閉めることも大切です。
また、電線が切れたり、平均風速が 40m/s 以上では電柱が倒れて停電になることがあります。
暴風警報、暴風雪警報、強風注意報が発表されたときは、その場に応じた行動をとり、停電に備えて非常備蓄品を準備しておきましょう。

暴風雪がもたらす危険とは？

暴風雪に関する気象警報などが発表されたとき、不要不急の**外出をしないこと**が身の安全を守るための最善の対策です。暴風雪から身を守るための対策を日頃から理解し、いざというときに備えてください。

家の中の対策 家の中でも暴風雪対策が必要です。しっかり理解し実行することで、身の安全を確保できます。

○一酸化炭素中毒防止のため、ＦＦ式暖房機の給排気口付近の降雪状況を確認しましょう。
○停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオなどの準備をしておきましょう。
　ポータブルストーブやカセットコンロを使用する場合は、３０分に一度は、しっかり換気しましょう。
○外出できない場合に備えて、食料や飲料水、日頃から服用している薬などを万が一のために備えておきましょう。

外出時の対策 やむを得ず外出する場合は、万が一のために、防寒具、食料、スコップなどを備えて外出しましょう。

車内対策

○暴風雪によって発生するホワイトアウトは、方向感覚を失い、道に迷う危険性があります。おさまるまで車内で待ちましょう。
○近くにコンビニや道の駅がある場合には速やかに避難しましょう。
○マフラーが雪に埋まると一酸化炭素（ＣＯ）が充満して命に危険が及びます。吹きだまりに閉じ込められるなどの際にはエンジンを停止して、防寒具などで温かさを保ち、救助を待ちましょう。
○冬場は燃料を十分に保ちましょう。